

ブラジル大統領選挙後、ブラジルレアルの見通し

2014年11月7日

ブラジルレアルの投資環境

- 10月26日に行われたブラジル大統領選挙の結果、ルセフ大統領が再選を果たしました。選挙結果を受けて、選挙結果発表直後はブラジルレアルは幅広い通貨に対して売られました。
- ブラジルレアルの実質金利は現状4.5%と高金利通貨において相対的に高い実質金利で推移しており、高金利通貨戦略を行う上では非常に魅力のある通貨であると考えております。
- ブラジル中央銀行は10月29日政策金利を0.25%引き上げて年率11.25%にすると発表しました。これにより、選挙前の同政権の経済運営に対する悲観的な見方は一時的に収束したのではないかと見ております。

ルセフ大統領再選 ～ブラジルレアルの下落、ルセフ政権の今後の課題～

ブラジルでは10月26日の大統領選第二ラウンド決選投票が行われ現職ルセフ大統領が、ブラジル社会民主党ネベス氏を歴史的僅差にて破り再選を果たしました。

残念ながらこの結果は選挙前の金融市場関係者のコンセンサスとしては最も望まれていない結果でした。これにより、対立候補のネベス氏が掲げていたより大胆な経済政策期待が萎んだこと、また他の新興諸国同様に多くの課題を抱えるブラジル経済に対して、現職ルセフ大統領の再選による現状政策維持に対する懸念を嫌気し、選挙結果発表直後の為替市場において、ブラジルレアルは幅広い通貨に対して売られました。

ブラジル経済を中長期的に見た場合、低調な経済成長、経常赤字拡大など構造的な課題を抱えており、それに対する今後の構造改革に向き合う必要があるというのは明らかです。一方で、他の多くの新興諸国も同様の課題を抱えておりブラジル固有の問題ではありません。今後ルセフ政権がこれらの課題に対しどのような対応を取るか、については注視を続ける必要があると考えております。

図表①

ブラジル大統領選挙
決選投票の結果



【出所】各種報道資料等を基に
SBIアセットマネジメントが作成

高金利通貨ブラジルレアルの魅力

ブラジルレアルは、投資対象としては別の見方もすることができます。短期的な投資対象として捉えた場合、新興諸国通貨を幅広く見渡してもブラジルレアルが最も魅力的な高金利水準を有する通貨であることには変わりはありません。ブラジル中央銀行は国内のインフレに対応することを目的とし、今年4月以降の金利の引き上げを行っており、これまでに合計で年率4%もの利上げを行っております。

ブラジルレアル以外では金利水準の高い新興国通貨としてはロシアルーブル、トルコリラなどがありますが、両通貨は国内のインフレ率が高く、金利水準とインフレ水準に基づき計算される実質金利は、概ねマイナス1%からプラス1%で推移しております。これに対してブラジルレアルの実質金利は現状4.5%と高金利通貨において相対的に高い実質金利で推移しており、高金利通貨戦略を行う上では非常に魅力のある通貨であると考えております。

○クレディスイスグループ提供の情報に基づき、SBIアセットマネジメントが作成

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

ブラジル大統領選挙後、ブラジルレアルの見通し

ブラジル中央銀行は政策金利を0.25%引き上げ、年率11.25%にすると発表

ブラジル中央銀行は10月29日の通貨政策委員会で、政策金利の基準金利を0.25%引き上げて年率11.25%にすると発表しました。

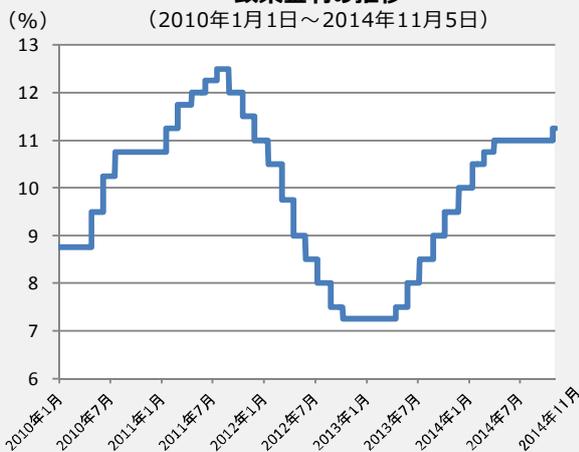
これは市場予想に反した利上げと受け止められ、一般に金利引き上げは国内経済を減速させるリスクがあるにも関わらず、同国中央銀行が国内インフレに対し市場予想以上に迅速な対応を見せたことで、同国中央銀行の金融政策に対する信認が高まり、更には今後のより一層の金融引締めへの期待ができるのではないかと考えております。

また今回のブラジル中央銀行による利上げによって生まれた現政権の政策への期待感、選挙直後の金融市場による現職ルセフ政権に対する現状維持への失望感という捉えられ方が、大統領選挙が僅差での勝利であった為、同政権が急ぎ求心力をアップさせるために一定程度の柔軟な政策運営を行うのではないかと市場の期待にもつながっております。

選挙前の同政権の経済運営に対する悲観的な見方は一時的に収束し、しばらくはその運営を見守ろうという雰囲気生まれている為、選挙前のような仕掛け的な売りによる短期的な為替急落リスクは低下したのではないかと見ております。

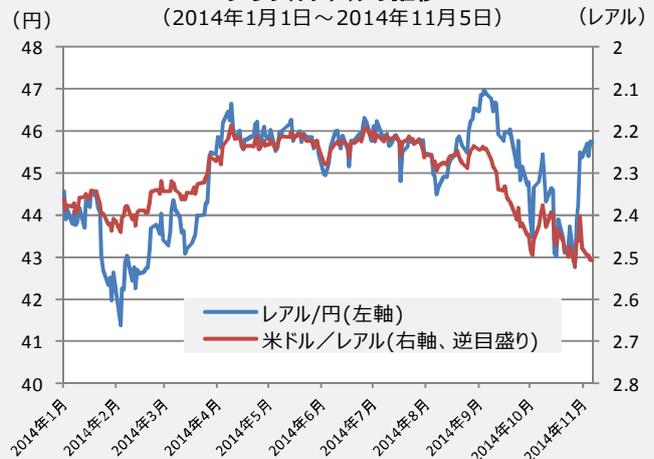
図表②

政策金利の推移



図表③

ブラジルレアルの推移



【出所】図表②、③ともに、ブルームバーグのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

○クレディスイスグループ提供の情報に基づき、SBIアセットマネジメントが作成

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

ご留意事項

【投資信託にかかるリスク】

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

【お客様に直接・間接的にご負担いただく費用等】

（お買付時に直接ご負担いただく費用）

- お買付手数料 上限3.78%（税抜3.5%）

（途中解約時に直接ご負担いただく費用）

- 信託財産留保額 上限 2.0%

（保有期間中にファンドが負担する費用（間接的にご負担いただく費用））

- 信託報酬※ 上限2.16%（税抜2.0%）

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

- その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

«ご注意»

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

【投資信託ご購入の注意】

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

委託会社 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会、
 一般社団法人日本投資顧問業協会

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。